

スパルタが抱える社会問題

1. 市民人口の減少（オリガントロピア）

クセノポン：

Xen. *Lac. Pol.* 1.1: 人口過少

イソクラテス：

Isoc. Or. 12. 255: 2000名足らず

アリストテレス：

Arist. *Pol.* 1270a 34: 人口過少の故に破壊されてしまったArist. *Pol.* 1270b 5-6; 30-32: 少数の人々に土地資産の集中、多くの市民の貧困化

ピュラルコス：

Plut. *Agis*, 5. 2; 5: エピタデウスの法

クロワ：

G. E. M. Ste de Croix, *The Class Struggle in the ancient Greek World*, London,

1981: 女性の相続と結婚慣習の問題

長谷川岳雄：

長谷川岳雄、「エピタデウスの法 —古典期スパルタの再検討—」、『駒沢史学』45、

1993: 同時代のスパルタ市民の意識

戦場に投入されるラケダイモン兵とスパルタ市民兵

ラケダイモン兵＝スパルタ市民兵＋ペリオイコイ兵

前479年 プラタイア 5000名（市民兵）＋5000名（ペリオイコイ）

＋35,000名（ヘイロタイ）

前418年 マンティネイア 4184名

前394年 ネメア 6000名

前371年 レウクトラ 2240名（本国残留部隊 1120名）

カートレッジの推定：

P. Cartledge, *Sparta and Lakonia: a regional History 1300 to 162 BC*,

London/ New York, 2002.

市民人口

前480年 8000名

前418年 約3500名

前394年 約2500名

前371年 1500名（最大）

市民人口の推定

レウクトラにおけるラケダイモン部隊：4個モラー＝2240名

スパルタ市民兵：700名 (Xen. *Hell.* 6. 4. 15)

スパルタ市民騎兵：300騎

ラケダイモン兵の死者：約1000名 (Xen. *Hell.* 6. 4. 15)

スパルタ市民兵の死者：400名

(Plut. *Ages.* 28. 8; DS. 15. 55. 5)

ラケダイモン部隊の編成 (Cartledge, 251 による)

全6個モラー＝3360名

1個モラー＝16個エノーモーティア＝560名

1個エノーモーティア＝35名 (3列×12列)

スパルタ市民人口の推定

カートレッジの推計 (Cartledge, 251 による)

レウクトラの4個モラーに含まれるスパルタ市民兵：700名

本国に残留していた2個モラーに含まれるスパルタ市民兵：350名

軍務免除者 (政府要職者と65歳以上の老人)：450名

合計：1500名

レウクトラの影響評価

ラケダイモン部隊の戦死者：約1000名

スパルタ市民兵の戦死者：約400名

エパメイノンダスに対するアルカディア人の指摘：

市民兵の過小と兵力不足

ディオドロスの評価：市民兵の減少と兵員不足

コークウェルの評価 (G. L. Cawkwell, "The Decline of Sparta," in:

M. Whitby (edit.), *Sparta*, Routledge/ New York, 2002, 236-257.) :

市民の減少と軍事的劣勢は直結せず

前424年以降、ヒュポメイオネス、ネオダモデイス、モタケス、トロピモイの編入

市民兵の専門教練の拡散による優位喪失

フックスの評価 (A. Fuks, *Social Conflict in ancient Greece*, Leiden, 1984)

市民の減少ではなく、ホモイオイと呼ばれる完全市民の減少

中井の評価 (中井義明、「帝国の終焉 - スパルタ帝国の解体の最終プロセス

- (二)」、『社会科学』73、2004、101-21) :

同盟国の離反による同盟軍減少

2. ペリオイコイとヘイロタイ

前 370 年暮れのエパメイノンダスのラコニア侵入

ラコニアのペリオイコイ・ヘイロタイの忠誠確保できず

ペリオイコイの一部の人々の言明：反乱と非協力の可能性に言及

(Xen. *Hell.* 6. 5. 25)

ボイオティア軍に協力 (Xen. *Hell.* 6. 5. 32)

スパルタ防衛に当たっていたペリオイコイとヘイロタイの逃亡 (Plut. *Ages.* 32)

ペリオイコイの多く、ヘイロタイの全てが反乱 (Xen. *Hell.* 7. 2. 2)

メッセニアの独立 (Plut. *Ages.* 34)

コークウェルの批判

前 465 年以降反乱は生じておらず (Cawkwell, 244)

反乱ではなく脱走

反乱が生じなかった理由：社会的上昇への幻想

ヘイロタイが望んでいたもの：スパルタからの解放ではなく、

スパルタの中での自由 (Cawkwell, 246)

スパルタに忠実 (Cawkwell, 245)

コークウェル説への疑問

反乱を起こさなかったことが忠誠の証となるのか？

恐怖による心理的支配 (クライアント症候群)

テルパンドロスやアルクマンを歌うのを拒否 (Plut. *Lyc.* 28)

スパルタ市民のヘイロタイへの恐怖

ヘイロタイ志願者の多さに対する恐怖 (Xen. *Hell.* 6. 5. 29)

スパルタ市民団の危機

敗れた戦いに生き残ることの不名誉 (Cawkwell, 253)

レウクトラで 300 名が生き残る

アゲーシラーオス、法律を一日だけ眠らせる

200 名の不穏分子がイッソリオン占拠

15 名を処刑

「古くて中身の濃んだ直り切らない傷のような厄介な輩」

(Plut, *Ages.* 32. 6)

「若者」 (Nepos, *Ages.* 6. 2)、「青年」 (Polyaen. 2. 1. 14)、「ラコニア人」

デーヴィッドの推測 (E. David, "Revolutionary Agitation in Sparta after

Leuctra," *Athen. Ns.* 58, 1980, 305)

大部分はヒュポメイオネス

シプリーの推測 (D. R. Shipley, *A Commentary on Plutarch's Life of Agesilaos*,

Oxford, 1997, 345)

ヒュポメイオネスや零落した市民
革命への陰謀

「スパルタ市民」

デーヴィッドの推測 (David, 305)

スパルタ市民身分に属する人々

シプリーの推測 (Shipley, 347) :

トレサンテスを含むクレオンブロトス支持派と貧困スパルタ市民